

令和4年第11回教育委員会議事録

開催日時 令和4年11月24日(木)
午前9時30分～午前11時15分

場所 やしお生涯学習館多目的ホール

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 高 橋 洋 一
委 員 田 口 理 恵

事務局出席者 学 校 教 育 部 長 山 本 誠
教育総務部副部長兼教育総務課長
千 葉 靖 志
教育総務部副部長 井 上 隆 雄
学校教育部副部長 高 橋 大 祐
社会教育課長 小 林 勝 已
文化財保護課長 高 山 治
学 務 課 長 山 内 修
指導課長兼小中一貫教育推進室長
和 田 進
学校 ICT 推進課長 菅 谷 昌 史
教育総務課庶務係長 関 根 郁 也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和4年第10回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第45号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

令和4年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出補正予算を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和4年11月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 歳入歳出予算の過不足を見込み、令和4年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

学校 ICT 推進課予算の GIGA スクールのドメイン移行業務委託料については、何年間で満期を迎えるのでしょうか。

●菅谷学校 ICT 推進課長

新たに取得するドメインにつきましては、変更などの必要が生じない限りは永久に使用できます。

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

議案第46号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を
改正する規則について

八潮市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成21年
教委規則第4号）の一部を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和4年11月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 学校施設開放事業の見直しに伴い、教育委員会の権限に属
する事務の一部を、市民活力推進部に所属する職員に補助執行させるため、こ
の案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

な し

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

議案第47号 [説明者 山内学務課長]

学校における働き方改革基本方針について

学校における働き方改革基本方針を別紙のとおり改定したいので、議決を求
める。

令和4年11月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 令和4年4月に埼玉県公立学校の「学校における働き方改
革基本方針」が改定された。市教育委員会としても、教職員が健康で生き生
きと働き続けられる職場づくりを推進するとともに、働き方改革をとおして
学校教育力の質の向上を図っていくことから、八潮市立小・中学校における

「学校における働き方改革基本方針」を改定したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

この方針は凄くボリュームがあり、時間をかけていかないといけない内容だと思います。子どもたちにとって最高の授業をするために教育委員会がこの改革を本格的に進めていくということは、私たちも負担軽減の研修などを受けて理解しているところです。3ページ目の教育長メッセージにある「八潮市の子どもたちの健やかな成長のためには、やはり心身ともに健康な教職員が必要不可欠です」ということを保護者が理解するには時間がかかると思います。例えば土曜日の校庭開放が無くなったことについて、先生方が大変だから色々な行事も無くなっていってしまう、というような先生だけをかばっての改革というように保護者は感じているように思うので、その先は子どもたちのための改革になっているというところは、これから示していかないといけないと思います。この方針であったり、この中にある教育長のメッセージがきちんと保護者の目に届くのかという心配もあります。

●井上教育長

日本全体が教育や教師に求めることを根本から変えないと理解されません。これまで困ったことは教育現場に任せれば良いということが多々ありました。先生が面倒を見てくれるのが当たり前という時代もありましたが、今はそういった考え方だけでは進めることができません。人口減少があり色々な職業で人手不足が起きており、教員も同じです。そのような中でも学校現場に求められることが今までと変わらなかったり、様々な問題がニュースでも取り上げられています。そういったこともあり教員になりたいと思う人は減っているので、少しでも働きやすい職場、ワークライフバランスが整った職場に変えていかなければ

ば、人が集まりません。これまでの教師に対するイメージを変えていくことが難しいところではあります。

○木下委員

基本方針の中には、朝練を原則行わないこととするという内容もありましたが、朝練をやりたいという先生もいるかもしれないので、そういった先生方や長年先生をやっている方々の気持ちの切り替えが大変だと思います。

●井上教育長

先駆けて朝の活動を無くした学校では、朝練が無くなったおかげで朝食を食べる時間ができたり、朝余裕ができることで勉強に身が入るといった声があったようです。また、中学校の部活動では越谷市と八潮市は同じ地区大会に出場しているため、越谷市でも朝の活動は原則無しとし、どちらかが不利になることがないように対応しております。

○加藤教育長職務代理者

運送業では今まで残業時間の制限はありませんでしたが、2024年には上限が80時間となります。これをクリアできるよう進めていますが非常に難しいです。しかし、できないとペナルティーも用意されているのでできる限りやっておりますが、これにより生産性が落ち、売上が下がります。ただ、従業員への賃金は減らすことはできないので会社が厳しくなります。これを教育に置き換えると授業の質が落ち、子どもたちの学力が下がることとなりますので、防ぐためには何をしなければいけないのかを考えなければいけません。

●井上教育長

今は時代の変化による混乱期に突入していると思います。特に働き方改革については丁寧に進めていかなければいけないため、山本学校教育部長が主体となり市内教職員を集めて会議を重ねてきました。自治体によっては一方的に方針を決定し教職員に通知しているところもあり、教職員からは八潮市は丁寧に進めてくれてありがたいという声も受けております。やらなければいけないこ

とでも、子どもたちを中心に、教員を大切に進めていくというのが本市の進め方です。

○高橋委員

学校のシステム自体が全体的に転換期を迎えていると思います。先生方の仕事のやり方も効率を良くし、無駄をなくして、いかに自分の時間を作るかという先生方の努力も必要です。そういう気持ちがないと働き方改革には結びつかないと思うので、先生方も理解して取組んでいただきたいと思います。

○木下委員

先日の研修では、6時間授業を減らして5時間授業を増やして、子どもたちを早く帰して先生方の業務時間が取れるようにしているという自治体もありました。

○高橋委員

学校の中で子どもたちと接していない業務時間を作る努力をしないといけないと思います。その上で、できないことに対して対応を検討していければ良いと思います。

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

議案第48号 [説明者 山内学務課長]

八潮市学校給食ビジョン中間報告について

八潮市学校給食ビジョンの策定に向けて、別紙のとおり八潮市学校給食ビジョン中間報告を定めたいので、議決を求める。

令和4年11月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 八潮市学校給食ビジョンの策定に向けて、八潮市学校給食ビジョン中間報告（案）を作成しパブリックコメントを実施した結果を踏まえて、八潮市学校給食ビジョン中間報告を定めたいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

な し

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長（千葉教育総務部副部長兼教育総務課長が代理説明）

(1) 令和4年第4回八潮市議会定例会会期及び日程について

会期は12月1日から12月20日までの20日間で、12月9日に総括質疑、12日に総務文教常任委員会、15日、16日、19日に一般質問、20日に採決という予定となっております。なお、一般質問につきましては、12月2日が通告日となっておりますので、後日、皆様に質問事項をお知らせいたします。

(2) 令和4年10月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

教育委員会への投書は3件ございました。内訳としましては学務課1件、指導課3件でございます。それでは、各課からご報告申し上げます。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

指導課への投書は3件で、1件目、2件目については同じ方からのものでございました。3件目は回答不要のものでございますので、様子を見ながら進めていきたいと思っております。

●山内学務課長

学務課への投書は1件、内容は、「自身の子ども2人が給食を美味しくないとやっている」「冷めている」「油ものがベチャベチャしている」「お腹を壊すことがある」「食中毒まではいかななくても、多少傷んでいるのではないか?」「美味しくないと給食はフードロス等につながる」「子どもたちに温かい美味しい給食を提供してほしい」という内容でした。この投書に対する回答は、「現在、新たな学校給食提供体制を構築できるよう『八潮市学校給食ビジョン』の策定に取り組んでいること」「衛生管理の面では、市教育委員会職員によるモニタリングや専門的な外部機関による検査、学校の管理職による検食を実施」していること

「フードロスにつながらないような食育による対応をしていること」について、回答したところでございます。

●山本学校教育部長

(1) 市内小中学校の様子について

まず、コロナ関係について報告いたします。11月14日から18日までで、47名の陽性者が発生しました。その前の週も47名でした。学級閉鎖が3学級、学校閉鎖が1校ございました。

次に、明日、小中一貫教育の研究発表会がございます。八幡中学校を中心にブロックとして取組んでおりますので、授業を小、中と見ていただくと統一していることが分かると思います。

最後に、八條北小学校の英語教育についてですが、11月18日に教育支援担当訪問がございました。東部教育事務所の英語専門の担当指導主事からも、素晴らしい取組みなので、市内だけではなく埼玉県内で広めたいというお褒めの言葉をいただきました。

●小林社会教育課長

(1) 令和4年度青少年の主張大会結果について

今月12日の土曜日、八潮メセナホールにおいて、青少年育成八潮市民会議との共催により、令和4年度青少年の主張大会を開催いたしました。当日は総勢129名の方々にご参加をいただき、市内小学校10校、中学校4校、高校2校からそれぞれ選ばれた児童・生徒が、日常生活を通じて日ごろ考えていることを発表していただきました。なお、発表当日は、大原中学校1名と八潮高校1名の生徒が体調不良により残念ながら欠席となりました。結果はお手元の資料にございますとおり、小学生の部の最優秀賞には、大原小学校6年生の「みんなを笑顔に」、優秀賞2作品には、中川小学校6年生の「わたしの幸せ」と大瀬小学校6年生の「今、苦しんでいる人たちへ」。中学生の部の最優秀賞には、八條中学校

2年の「誰もが住みやすいまちを目指して」、優秀賞には、八幡中学校2年生の「夢をもつこと」。高校生の部の最優秀賞には、八潮南高校1年生の「あなたと私の間に」、優秀賞には、八潮高校1年生の「車と描く私の夢」がそれぞれ受賞されました。

●高山文化財保護課長

(1) 第91回歴史講座「絵図でたどろう～南後谷の史跡めぐり」の実施結果について

歴史講座は、本市の歴史に対する関心を高め、「個性ある豊かな市民文化づくり」の醸成につなげることを目的としており、今回は南後谷地区をフィールドに文化財めぐりを行いました。江戸時代に作成された絵図をもとに、絵図に描かれた神社や寺、旧跡を巡る内容とし、個々の文化財の紹介だけでなく、見学コースとして通過する手代橋や産業道路なども取り上げ、その成立の過程や歴史背景を通じて、まちの変化を実感していただけるよう努めました。講座参加者は10名、講座終了後のアンケートでは、「何もないと思っていた後谷に新たな発見があった。」「知的関心を呼び起こしていただきました。」などの意見が寄せられ、好評をいただきました。市民が、自身の住む地域の歴史を知り、あらためて見つめ直す良い機会でもございますので、今後、事業の継続と充実を図ってまいりたいと考えております。

(2) 埼玉県和 문화フェスタ2022について

こちらは県文化振興課が主催したイベントで、「郷土芸能など和文化との出会いの場所創出」をテーマに11月12日、13日にイオンレイクタウンにて開催されました。市内からは県指定文化財大瀬の獅子舞が13日に出演いたしました。客席はほぼ満員となり、買い物途中の来場者も足を止めて見学する様子も見られ、大瀬の獅子舞の周知につながりました。また、出演した大瀬獅子舞保存会からは「コロナの影響で披露の場がなかったので、このような機会をいただけて

良かった」「多くの人に見てもらえた」などのお声をいただき、文化財継承への意識向上にもつながったと考えております。

最後に、次第にはございませんが1点報告がございます。資料館の隣の駐車場におきまして、11月5日と6日、15日、20日に焚火をした痕跡が確認されました。燃焼物は、飲食した容器やボトル、菓子袋、落ち葉などで、燃焼規模はあまり大きくはないものの、飛び火による火災の危険性も考えられましたことから、警察と消防に通報し、パトロールや巡回強化を要請したところでございます。なお、20日以降、焚火をした形跡は確認されておりませんが、今後につきましても、警察、消防と連携し対応を進めてまいりたいと考えております。

●山内学務課長

(1) 学校給食について

「学校給食費の収納状況」についてご説明申し上げます。4月から10月までの収納率でございますが、小学校が「99.74%」、中学校が「97.90%」、小中学校を合算した収納率は「99.18%」、未納額は「1,183,144円」となっております。収納状況につきましては、学校のご協力もあり順調に進んでいるところでございます。

次に資料はございませんが、10月28日に外部の専門機関による、給食センター及び市内小中学校5校の衛生検査を実施し、結果は概ね良好でございました。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和4年10・11月の事件・事故報告について

事件・事故報告は5件、内訳は、不審者情報が1件、交通事故が1件、虐待の疑いが1件、家出が1件、校内での事故が1件でございます。

交通事故の1件は塾の帰り道に発生しております。家出につきましては無事に帰宅しております。校内での事故は学校と保護者間での話し合いで解決しております。

(2) 小中一貫教育について

資料はございませんが、3点ご報告いたします。

まず、1点目、八幡中学校ブロックの研究発表会についてでございますが、明日、八潮市小中一貫教育はばたき2022研究発表会を開催させていただきます。キャリア教育の視点で、国語、算数、数学、プログラムを活用した学級活動、総合学習の授業などを公開させていただきます。ここ数年継続して取り組んでいる授業改善について、その成果を感じて頂けると思います。

2点目、小坂町派遣研修の報告についてでございますが、11月7日から11日まで教職員の小坂町への派遣を実施し、先日報告会を実施いたしました。今後派遣された教職員の皆様については、研究授業を実施していただいたり、2月に開催予定の合同報告会等で研修の成果を発表させていただきます。

3点目、綾瀬市教職員受入れ事業についてでございますが、11月21日から神奈川県綾瀬市が小中一貫教育について視察に来ております。市内の学校の視察と研究発表会を参観をする予定となっております。

●菅谷学校 ICT 推進課長

(1) 八潮市 GIGA スクール通信 (第 31 号) について

今月2日に発行いたしました八潮市 GIGA スクール通信第31号では、10月27日に市内小中学校のプログラミング教育を推進する教員を対象にオンラインで行った、「プログラミング教育研修会」について掲載をいたしました。こちらは冒頭の教育長諸報告でも報告を行っている内容となりますが、小学校では令和2年度からプログラミング教育が必修化されていることなどを踏まえ、昨年度からプログラミング教育研究校として指定を行っております、柳之宮小中学校での取組にご協力をいただいている(株)ヴィリング代表の中村様に、プロ

プログラミング教育が導入に至った背景や経緯、プログラミング教材の実践事例などについて研修をいただいたものとなっています。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

青少年の主張大会を拝見させていただきました。最優秀賞の子どもたちの発表を聞いて、子ども、大人関係なく言葉の力強さに感動しました。特に八條中学校の生徒が発表した内容は、八潮のことを凄く考えてくれていて、実現したら良いまちになっていくと思い、是非色々な方に聞いていただきたいと思いました。

○高橋委員

文化財保護課の活動が非常に楽しみで、今回の歴史講座の史跡めぐりの結果の資料を見てもとても良くできていて、これだけの準備をして講座を開いてくれていることに改めて感謝します。八潮の歴史を広く多くの方々に知ってもらえればありがたいと思うので、今後の活動も期待しています。

○加藤教育長職務代理者

史跡めぐりの件で、立野堀稻荷社は昔、南後谷にあったのでしょうか。

●高山文化財保護課長

立野堀稻荷社は南後谷ではなく、今の草加市稲荷町、旧立野堀村の神社でございます。後谷と接しておりますので見学をいたしました。

○木下委員

タブレットを使ったプログラミング教育の授業の内容について、詳しく教えてください。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

論理的な思考力を養うことを狙いとしております。例えば小学生の算数の授業で多角形の内角の和の学習があります。ここではプログラミングソフトを活用し、ロボットの動いた跡が正三角形になるようなプログラミングを考える、といった学習を通して角度について学んでいます。これは「ロボットが1m進んで

120度方向転換して、また1m進む」というプログラミングを組むと正三角形になり、裏を返すと1つ1つの角度が60度ということとなります。このようなことを試行錯誤しながら学んでいくような学習内容となっております。

○木下委員

プログラミングを学習している時の子どもたちはどのような様子ですか。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

子どもたちは飲み込みが早く、プログラミングで色々なものを作り、友達に見せて楽しく話をしている様子が見られます。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。